

子どもが日常的に集団で移動する経路の交通安全対策について

公明党
青木 健 議員



▲交通安全対策のための合同点検の様子

質問 本年5月、滋賀県大津市において散歩中の園児が交通事故に巻き込まれ、園児2人が亡くなるなど、近年、歩行者が犠牲となる交通事故が後を絶たず、交通安全対策のさらなる充実が求められている。このような事態を受け、国は、未就学児が日常的に集団で移動する経路の緊急

安全点検を実施することとしたが、福生市において、現在、どのような取り組みを行っているか。

市長 6月下旬に東京都を通じ、厚生労働省等及び警視庁から調査の依頼があり、7月に市内の認可保育所、認定こども園、幼稚園等の各施設へ散歩経路など、子どもが通行す

る道路の交通安全上の危険箇所を把握するための調査を実施した。その調査結果をもとに危険箇所を特定し、8月下旬に約20カ所について、福生警察署の担当者や市の保育園の担当職員等の立ち会いのもと、合同点検を実施し、周辺道路の状況や対策の必要性等について確認している。

旧ヤマジユウ田村家住宅について

正和会
小澤 芳輝 議員



▲旧ヤマジユウ田村家住宅

質問 旧ヤマジユウ田村家住宅が一般公開されているが、その状況、運用方法について伺う。

教育長 田村家住宅の平成30年度の来場者数は2,957人で、玉川上水や宿橋通りを見学する史跡・ガイドツアーでの紹介や、文化財の学習や見学会の拠点として活用している。

今後も一般公開を継続しながら、保護思想の啓蒙活動の拠点機能を持たせた運用を行っていく。

長沢公園を含む周辺整備について

質問 長沢公園を含む旧ヤマジユウ田村家住宅、旧郵便局周辺の整備に関する進捗状況を伺う。

市長 宿橋通り周辺は市の和の文化を象徴する地域で、観光資源としてさらに活用するため、田村家住宅向かいの旧郵便局を借り受け、田村家住宅と一体的に文化財の価値を高めることや、田村家住宅と長沢公園の間の民有地を取得し、施設価値を高めることを考えている。

全ての子どもたちに学ぶ機会を確保することについて

生活者ネットワーク
三原 智子 議員



質問 平成31年第1回定例会でも、「全ての子どもたちに学ぶ機会を確保することについて」と題して質問した。教育機会確保法の施行により、不登校は問題行動ではないとされたことから、福生市立学校の不登校総合対策の見直しに関して所見を伺ったところ、見直す必要があると考え

ているというお答えをいただいたが、教育機会確保法に基づいた新たな施策について伺う。

教育長 本市における「不登校総合対策」については、教育機会確保法に基づき、現在、その改訂に向けて作業を進めている。一人一人の事情に応じた多様な学びの場や居場所

の確保が本市には必要だと感じており、例えば中学校における不登校生徒への支援のあり方として、学校復帰のみを目指すのではなく、社会的に自立に向けた支援を担った支援機能を備えた施設として、不登校特例校分教室を新たに設置したいと考えている。

産業道路の延伸に伴う沿道のまちづくりについて

正和会
山崎 貴裕 議員



▲延伸工事が行われている産業道路

質問 現在延伸工事が行われている区間は閑静な住宅地であり、そこに大きな幹線道路が通ることによる期待と不安が入りまじっているが、延伸工事に伴う沿道地区のまちづくりをどのようにしていくか伺う。

市長 産業道路延伸部の沿道となる地区は、市の中央部であり、市民

生活の利便性向上に寄与する商店等の立地に適したまちなみの形成を図るため、地区計画を定め、用途地域の見直しなどを行っていく。

産業道路と接続する福生市道整備の取り組みについて

質問 産業道路沿道の市民にとっては、産業道路に接続する多くの市

道の整備も重要ではないか。

市長 現在整備中の産業道路は中央分離帯が設置されるため、市道は分断され、一部を除いて通り抜けができなくなる。沿道住民の生活環境に影響を及ぼすことから、西多摩建設事務所に対し、地元説明会の開催など丁寧な対応を要望していく。

不適切な養育(マルトリートメント)による子どもの虐待について

公明党
五十嵐 みさ 議員



質問 マルトリートメントは、日常的なかかわり方の中で子どもへ過度なストレスを与える言動をいうが、これに関する市の認識を伺う。

市長 このような行為に対しては、子どもの安全と安心の確保を第一に考えた対応をとることとしている。

教育長 学校教育で関連すること

は「不適切な指導」等が考えられる。このようなことを一掃するために、服務事故防止研修等を行っている。

日米地位協定ガイドラインの改正について

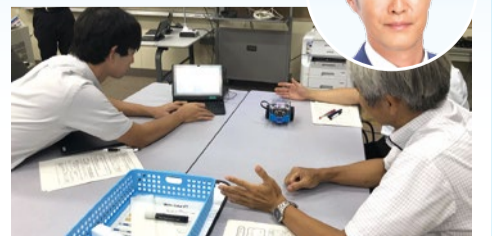
質問 今年7月に、在日米軍基地の外で米軍機事故が起きた際の日米地位協定ガイドラインが改正された

が、市への影響等は。

市長 迅速かつ早期の制限区域内への立入りについて明確になり、立入りを日米両政府の責任者が優先的に行うなどの改正がなされた。万が一、事故等が発生した場合は、防衛省をはじめ関係機関との連絡を密にして適切に対応する。

ネーミングライツ(命名権)について

正和会
佐藤 弘治 議員



▲プログラミング教育の教員向け研修会の様子

質問 ネーミングライツは施設建設や運用資金の調達のための手法で、福生市もこれを導入すると発表しているが、その基本的な考え方や内容等について伺う。

市長 自主財源が少ない福生市にとって、ネーミングライツは新たな財源確保の重要な手段であり、9月

2日から導入した。企業等が市に対して施設や命名権料などを提案し、応募いただく方法を考えている。

プログラミング教育について

質問 新学習指導要領で小学校のプログラミング教育が導入される、他の教科での思考力の育成と比較し

た特徴や必要性について伺う。

教育長 プログラミング的思考は、他の教科で育成してきた論理的思考力とつながっている。小学校のプログラミング教育はプログラミング的思考を育むもので、論理的に考えながら修正や改善を行うことは子どもたちにとって必要なことである。